

令和6年度鹿児島港中央港区開発推進協議会総会議事録

1 開催日時及び場所

(日時) 令和6年10月4日(金) 13:30~14:00

(場所) 鹿児島木材産業協同組合 事務所2階会議室

2 会員数及び出席者数

- ・ 会員数97人 (鹿児島市三号用地振興協議会38人、鹿児島機械金属工業団地協同組合12人、鹿児島木材産業協同組合23人、その他24人)
- ・ 出席者数51人
- ・ 報道機関1人(建設新聞)

3 議事の内容

- ・ 定刻に至り、事務局担当者が開会を宣する。
- ・ 柴立会長より開会のあいさつがなされた。
- ・ 関係行政機関の来賓あいさつが行われた。
国土交通省鹿児島港湾・空港整備事務所 三好所長
鹿児島市都市計画部都市計画課 外菌課長
- ・ 議長については、規約により会長が行うこととなっていることから、柴立会長が議長につき議事の審議に入る。
- ・ 第1号議題令和5年度事業実績及び第2号議案令和6年度事業計画について議長が説明を求めたので、事務局員は別紙資料により説明を行いました承された。
- ・ その他について
中央港区の整備にかかる県議会の主な議論について事務局員から説明がなされた。
以上で総会での審議を終了したので議長より閉会を宣した。

4 総会終了後、協議会の顧問である柴立鉄平県議会議員、中島蔵人市議会議員、今給黎教子氏よりあいさつがなされた。

総会終了後、以下の講演会及が開催され、多くの会員が参加されました。

◎ 講演会 「鹿児島港中央港区の計画と現状について」

14:00 ~ 14:30

講師 鹿児島県港湾空港課 安藤 港湾対策監

鹿児島港の概要、臨港道路(鴨池中央港区線)の整備、クルーズ船の受入環境整備、旧木材港区の埋立、最近の話題等について、スライドと資料を用いて講演していただきました。

◎ 質疑応答・要望等要旨 14:30~15:00

(Q1) ①旧木材港区埋立跡地の活用 どのような方向での活用を検討されているのか。

②また、多くの従業員が通勤にバスを活用していたが、減便のため市電を活用せざるを得ない状況。夜間、イオンモールから上塩屋電停までの道は暗く危険。そのため歩道の整備などで街燈整備をお願いしたい。

(A) ①令和15年位には全体が埋まると思われる。利活用については、その後の地盤沈下の終息時期を考慮する必要があると考えており、議会や県民の皆様のご意見を頂きながら検討していきたい。

②道路の管理者(市道や県道)の方に、このような問題があることをお繋ぎしたいと思います。

(協議会) 街燈については、今後調査して具体的な内容について、鹿児島市の方に要望してまいりたいと思いますので、よろしく願います。

(Q2) ①旧木材港にある県管理の防潮堤について、撤去する考えはないのでしょうか。

②コゲツノブエガイの再調査及び移設を実施して、防潮堤の前面の水域を埋め立てることはできませんか。

(A) ①防潮堤の撤去については、今後工夫も必要と思いますが、まずは埋立を進めることを優先しており、その合間で課題として考えていきたい。

②コゲツノブエガイは希少種であるため、モニタリングしながら、慎重に埋立を進めているところであり、意見の一つとして伺った。

(Q3) 北側の水域は第2工区まで埋立が終わってから、マリーナの整備を行うつもりなのか。

(A) 埋立地の北側の水域活用についても、埋立地と併せて検討が必要であると認識している。鹿児島港の港湾計画には小型船溜りやマリーナの計画があるが、それらに関しても、どのように進めていくか、全体を見ながら検討する必要がある。この場で小型船溜りやマリーナの要望が上がったことは承知した。

(Q4) マリンポートからの交通渋滞がひどく、海上ルートによる渋滞対策の現状や今後の方向性について伺いたい。

(A) マリンポートかごしまの浮棧橋から海上二次交通を使って、鹿屋、北ふ頭、桜島などへの遊覧等に活用できればと考えているところ。

(Q5) 谷山の小型船溜り(PBS)の順番待ちや小型船の放置船問題などから小型船溜りの整備は必要。旧木材港埋立地の防潮堤や接続道路の問題などについても、今後、議会の方で確認させていただく。